

令和5年度 公益財団法人大分県スポーツ協会 第4回理事会

日時：令和6年3月22日（金）10時30分～

場所：大分県庁舎新館14階 「大会議室」

理事

出席者 麻生 益直 栗田 泰司 佐保 宏二 宮成 康蔵 内海 秀昭  
(20名) 衛藤 賢 大久保邦彦 岡部 司 河村 美香 岐部 俊哉  
佐藤 彰倫 西川 幸宏 荷宮 利孝 羽田野明美 牧 和志  
御沓 稔弘 森田 美穂 山田 美樹 柚木 徹 吉田 正史

欠席者 岡本天津男 相馬 尊重 石川 明德 伊東 剛 大場 俊二  
(10名) 加藤 寛章 川野 眞司 末吉 新治 豊田 正順 村田 潤

監事

出席者 羽田野昭人 古庄 健一 穴井 哲也  
(3名)

欠席者  
(0名)

議事録作成者 専務理事 佐保 宏二

資格確認 押田総務部長が出席者理事20名で、定数の過半数であることから、本会定款第36条により、本会が成立することを報告した。

1 開式のことば

押田総務部長が開会のことばを述べた。

2 あいさつ

公益財団法人大分県スポーツ協会麻生会長が、あいさつを述べた。以下あいさつ文。

本日は、第4回理事会を開催しましたところ、皆様方には、年度末の大変御多用な中、御出席をいただき、誠に有難う御座います。また、平素から、本県のスポーツ振興並びに本会の諸事業の推進に格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、既に皆さんも御承知の事と思いますが、三好内科循環器科医院院長の三好博先生が、去る3月11日に逝去いたしました。三好先生は、大分三好ヴァイセアドラーの生みの親でもあり、我々の協会にも大変御尽力頂いた方でありました。14日の葬儀に参列したことを御報告いたします。皆さんも健康には十分御留意することを重ねてお願い申し上げます。

本題に入りますが、先月11日に、本県スポーツ少年団最大のイベントであります「大分県スポーツ少年団駅伝交流大会」を開催し、昨年を上回る69団から661名の選手が参加してくれました。当日は天候にも恵まれ、大変素晴らしい大会となりました。共催の大分合同新聞社様をはじめ、関係の皆様へ御礼を申し上げます。

また、国民スポーツ大会については、既に冬季大会が終了いたしました。参加した選手は「チーム大分」の一員として精一杯の戦いをさせていただきました。次の戦いは、第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」の代表権をかけた、九州ブロック大会となります。2年連続「天皇杯得点1000点」の達成に向け、1つでも多くの代表権を獲得したいと思っております。

ます。

あと1週間ほどで新年度となりますが、令和6年度はパリオリンピックや北部九州インターハイが開催されます。こうした大会での本県選手の活躍を大いに期待しているところですが、佐賀県で開催されます国民スポーツ大会に向けた競技力の向上や、中学校運動部活動の地域移行、また、登録・認証制度の本格的な実施となった総合型地域スポーツクラブに関することなど、課題もあります。今後も加盟団体や関係機関との連携をより緊密にし、諸課題の解決に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様方の一層の御支援・御協力をお願いいたします。

結びに、本日は、来年度の「運営方針」、「事業計画」、「収支予算」などについて御審議いただくこととしております。皆様方には、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます、あいさついたします。

どうぞよろしくをお願いいたします。

### 3 議長選出

以下、進行より、議長及び議事録署名について説明がなされた。

理事会規程第6条では、「理事会の議長は会長がこれにあたる」となっておりますので、麻生会長に議長をお願いいたします。

また、議事録署名については、定款37条に「出席した代表理事及び監事は、議事録に記名押印する」となっておりますので、その旨よろしくをお願いいたします。

以下、議長による進行。

### 4 報告事項

以下の報告事項について、宮成常務理事兼事務局長より説明がなされた。

- (1) 令和5年度事業報告（業務執行状況の報告）について（9月2日～3月18日）
- (2) 第78回国民スポーツ大会冬季大会成績について
- (3) 各種大会成績について（令和5年度第3回理事会以降）
- (4) 感謝状の贈呈について

#### 【(1) 令和5年度事業報告（業務執行状況の報告）について（9月2日～3月18日）】

レジュメ1ページから6ページにかけて、9月2日以降の、事業報告及び業務執行理事の職務状況の御報告をいたします。これは本会定款に基づき、業務執行理事である会長、副会長、専務理事、常務理事の職務実行状況を報告するものです。抜粋して御報告いたします。

1ページを御覧ください。No. 2 9月6日に、第2回理事会を開催いたしました。副会長、専務理事ほか役員の皆様にご出席いただき、中期経営計画等について協議いたしました。No. 11 9月29日に、特別国民体育大会大分県代表団結団壮行式を開催し、会長、副会長をはじめ役員・選手が参加して鹿児島国体に向けてチーム大分を結団いたしました。

2ページを御覧ください。No. 13 10月7日～17日に、特別国民体育大会に会長、副会長等が、大分県本部役員として御対応いただきました。御承知の通り、13年振りに目標の天皇杯得点1000点を獲得いたしました。No. 17 10月29日に、令和5年度ガバナンス研修会を開催しました。本県出身で、日本スポーツ協会事務局長の岩田史昭氏を講師に迎え、「スポーツにおいてガバナンス・コンプライアンス確保はなぜ必要か」について御講演いただきました。No. 21 11月9日に、第2回九州地区スポーツ協会連絡協議会に参加し、九州各県の代表者と議題について協議いたしました。

3ページを御覧ください。No. 31 12月1日に第2回スポーツ医科学委員会兼専門部会合同会議を開催し、専務理事をはじめ医科学委員が各専門部会の活動報告を受けました。No. 34 12月9日から10日にかけて九州クラブネットワークアクション2023を本県で開催

し、九州各県から100名を超える総合型地域スポーツクラブ関係者が参加しました。当日はスポーツ庁、日本スポーツ協会からの情報提供もあり、活発な協議がなされました。

4ページを御覧ください。No. 38 12月16日に、大分県スポーツ指導者研修会を開催し、鹿島アントラーズFC取締役の吉岡宗重フットボールダイレクターに、「プレイヤーズセントードなアプローチ」について御講演いただきました。No. 44 1月19日に、第3回理事会を開催いたしました。会長、副会長、専務理事をはじめ役員の皆様に御出席いただき、補正予算等について協議いたしました。No. 45 1月19日に、第78回国民スポーツ大会冬季大会大分県代表団結団壮行式を開催し、御来賓として佐藤県知事、元吉県議会議長に御出席いただき、スキー競技、スケート競技の選手団の結団をいたしました。

5ページを御覧ください。No. 50 2月11日に、本会主催の第32回大分県スポーツ少年団駅伝交流大会を開催しました。県下各地から男女あわせて69団が参加し、駅伝を通じて交流をいたしました。No. 51 2月14日に、大分県スポーツ協会表彰式を開催し、会長、副会長、専務理事の出席のもと、表彰者全員に賞状と楯を麻生会長より授与いたしました。

6ページを御覧ください。No. 59 3月6日に、大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会常任幹事会を開催し、令和6年度の事業計画、収支予算、登録料等について協議しました。No. 61 3月8日に、第3回スポーツ医科学委員会を開催し、専務理事、医科学委員の出席のもと、令和6年度の運営方針・事業計画等について協議しました。

事業報告及び業務執行理事の職務状況については、以上でございます。

#### 【(2) 第78回国民スポーツ大会冬季大会成績について】

続いて、レジュメ7ページを御覧ください。1月末並びに2月中旬に開催されました、冬季大会スケート競技会とスキー競技会での大分県選手団の成績です。

スケート競技に1名、スキー競技会に15名の選手が出場し、御覧の通りの結果となっております。冬季大会については、練習環境がない中、他県に出向いてトレーニングを行い、冬季大会に参加することで参加点を獲得していただいております。本当にありがとうございます。詳細については後刻御覧ください。

以上でございます。

#### 【(3) 各種大会成績について (令和5年度第3回理事会以降)】

次に、レジュメ8ページを御覧ください。各種大会成績については、第3回理事会で報告した以降の本県関係選手の主な大会成績を掲載していますので、御確認ください。今後3月下旬には、高校の全国選抜大会が続々と開催されますので、引き続き、本県関係チーム・選手の活躍を期待したいと思います。

以上でございます。

#### 【(4) 感謝状の贈呈について】

それでは、レジュメ9ページをお開きください。上段、2段目に記載の感謝状贈呈に関する内規を御覧ください。

今回は、(2) 本会に対して一定額を超える額を寄附した個人及び団体、(3) 本会賛助会員として、通算10年以上会費を納入した個人及び団体、(4) 上記以外で、感謝状を贈呈する必要があると認めた個人及び団体を対象としています。

まず中段、丸印の賛助会員関係でございます。(1) 通算10年以上会費を納入した記載の個人2名、団体は4団体でございます。10年もの間、継続して本会賛助会員として御寄附いただきました。

次に(2) 一定額を超える額を納入した記載の個人2名、団体は13団体でございます。後ほど御報告いたしますが、お陰様をもちまして、賛助会費の合計額が過去最高額となりました。本当にありがとうございました。

次に下段記載の、感謝状を贈呈する必要があると認めた個人でございます。三好内科循環器科

医院院長で、プロバレーボールリーグに所属の大分三好ヴァイセアドラーのオーナー兼部長の三好博先生でございます。誠に残念ですが3月11日に御逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。故三好先生の御活躍は、皆様御承知の通りで、私財をもって本県にプロバレーボールチームを設立し、Vリーグ1部で活躍するチームを育成いたしました。また記載の通り、平成5年～18年までの間、本会スポーツ医科学委員会委員としても御活躍いただきました。本当にありがとうございました。

以上、感謝状の贈呈について御報告いたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

## 5 議事

以下の議案について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

- 議案1 令和6年度運営方針及び専門委員会基本方針について
- 議案2 令和6年度事業計画について
- 議案3 令和6年度収支予算について
- 議案4 評議員会の開催について（5月臨時・定時評議員会）

### 【議案1 令和6年度運営方針及び専門委員会基本方針について】

レジュメ10ページを御覧ください。令和6年度公益財団法人大分県スポーツ協会運営方針(案)でございます。ねらい、基本方針は令和5年度から変更はございません。重点的取組としては、4点を挙げています。

まず一つ目は、第78回国民スポーツ大会での天皇杯目標得点の獲得に向けた競技力向上対策の推進です。昨年達成した天皇杯得点1000点を今年も目標として設定し、その達成に向けて競技力向上対策本部や競技団体、企業、学校等と連携し、競技力向上対策を推進していきます。

二つ目は、財政基盤の確立と財務体制の強化です。今年度、策定した中期経営計画に基づき、新たな賛助会制度を構築し、自主財源確保に向けて、賛助会の更なる拡充に取り組みます。

三つ目は、登録・認証制度を通じた総合型地域スポーツクラブの資質向上でございます。クラブの創設期を経て、今後はクラブ育成の推進、資質の向上に取り組みます。

四つ目は、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる環境作りにむけた、Nオスポハラ活動の推進です。全国的にもスポーツ界のハラスメントの報道を目にします。また、残念ながら本県も昨年度、多くのスポーツハラスメント案件がございました。我々としては、本県からスポーツハラスメントを出さないよう啓発活動に取り組んでいきます。日本スポーツ協会も重点課題としており、本県指導者協議会と連携し、スポーツ少年団、総合型クラブ、企業、学校など、関係者にNオスポハラ啓発に取り組んで参ります。

次に11ページをお開きください。競技力向上委員会の基本方針(案)でございます。ねらい、基本方針、重点的取組については、令和5年度と同様でございます。この基本方針(案)に則り、12ページ掲載の第78回国民スポーツ大会の目標(案)の達成を目指します。2年連続の天皇杯得点1000点獲得を目指し、キーワードを下段記載の「20・10・5」としています。20・10・5とは、競技得点獲得が20競技以上、30点以上獲得が10競技以上、その中で50点以上獲得が5競技以上を表しております。また記載の団体8競技で150点以上を目指します。これは1000点獲得に向けて、過去10大会を分析し、本県が1000点を獲得するための得点モデルでございます。13ページには、過去10大会の天皇杯得点・順位の推移を掲載しております。14ページのスポーツ大分パワーアップ事業実施要項(案)、更には、15ページ、16ページの令和6年度強化指定一覧(案)、令和6年度強化指定個人(案)については、2月19日に開催した競技力向上委員会の協議を経て、本日理事会にお諮りするものです。14ページ

のスポーツ大分パワーアップ事業の内容については、令和5年度の事業内容と大きな変更はございません。この内容で引き続き、効果的な競技力向上対策を推進していきたいと考えております。15ページの、強化指定一覧（案）につきましては、昨年の指定をベースに、鹿児島国体をはじめ、過去3大会の国体成績等を踏まえ、ランクの入れ替えや団体の入れ替え等をしております。16ページの、強化指定個人（案）につきましても、各選手の実績や鹿児島国体の成績を踏まえランクの入れ替えや新規の指定をしております。

次に、スポーツ医科学委員会基本方針（案）でございます。17ページを御覧ください。こちらも、内容は令和5年度から変更はございません。こちらの内容についても、3月8日に開催しました第3回スポーツ医科学委員会での協議を経て、本日理事会にお諮りするものです。来年度も、この基本方針に基づき、医科学関係者とより一層の連携を図り、選手のサポート体制の整備や医科学における諸問題の解決に取り組みます。

次に、大分県スポーツ少年団基本方針（案）でございます。こちらも、基本的な内容は令和5年度と同様ですが、重点的取組の一つ追加しています。三つ目の項目です。令和6年度に本県で、第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会を開催することから、この大会の成功に向け、競技団体等と連携を図り、大会の成功に向けて準備いたします。なお、この基本方針（案）についても、3月7日に開催しましたスポーツ少年団常任委員会での協議を経て、本日理事会にお諮りするものです。

令和6年度運営方針及び専門委員会等基本方針については以上でございます。  
御審議お願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

#### 【議案2 令和6年度事業計画について】

レジュメ19ページ・20ページを御覧ください。令和6年度事業計画一覧（案）でございます。1が理事会・評議員会等の会議、2が全国・九州関係の会議、3～5が国民スポーツ大会関係行事、6は本会関係専門委員会等の会議並びに事業、③のスポーツ少年団関係は、県内・九州・全国の会議の他、各種研修会や日独スポーツ少年団同時交流、各種大会への派遣など、大変多くの事業を計画しております。20ページ中段の、④は、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の関係行事、7は本会主催会議、8が日本スポーツ協会委託事業、9が表彰関係事業、10が広報関係事業、11が募金関係事業、12がその他の事業でございます。記載の日程については、あくまで予定でございますので、変更する場合もございます。御理解をお願いいたします。

御覧の通り、来年度も多岐にわたり各種事業に取り組むこととしておりますが、一方で、行事に参加される本会関係者の負担軽減や、本会職員の働き方改革を推進するための環境整備も喫緊の課題です。今後も行事の精選について、引き続き、検討を続けていきたいと思っております。

事業計画の説明は以上でございます。御審議お願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《その後、質疑無し》

《麻生議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

**【議案3 令和6年度収支予算について】**

レジュメ21ページを御覧ください。この予算(案)については、現在、県議会において令和6年度予算について審議中でございますので、本日提示する予算案のうち、県からの補助金につきましては、県議会の議決を前提として提案するものであることを御了承願います。

それでは、慣例により、公益目的事業3事業と法人会計をまとめた、A3の概要版で説明させていただきます。表の両端に記載の数字は行数でございます。行数を示して御説明いたします。

まず、2行目から48行目までが収入の部となる経常収益、49行目から71行目までが支出の部となる経常費用でございます。77行目に収支となる当期経常増減額計の記載がございます。また、前年度予算額については、第3回理事会において承認された補正後の予算となっております。

それでは、経常収益です。3行目の特定資産運用益1千円、4行目の受取会費1575万9千円、10行目の事業収益1322万2千円、28行目の受取補助金等2億6731万3千円、38行目の受取寄附金672万3千円、45行目の雑収益49万6千円、48行目の経常収益計3億351万4千円で、前年比1632万8千円の増です。これは九州ブロック大会の開催地が今年度は大分県開催でしたが、来年度は宮崎県での開催となっており、国スポ派遣費が増額したこと等によるものでございます。

次に、経常費用です。50行目の大分県スポーツ振興事業2億5351万4千円、54行目の大分県スポーツ少年団事業850万6千円、61行目の大分県スポーツ普及・表彰事業776万円、68行目の上記3事業の事業管理費2974万2千円、70行目の法人会計管理費698万1千円、71行目の経常費用計3億650万3千円で、前年比1828万3千円の増です。経常収益同様の理由によるものです。

77行目の収支差額となる当期経常増減額ですが、298万9千円の赤字見込みの予算編成となっております。大きな要因としては、来年度開催されます全国スポーツ少年団剣道交流大会にかかる経費、またスポーツ安全協会普及事業の契約が委託契約となり契約変更によるものでございます。

大きな赤字見込みでございますが、68行目の3事業の事業管理費を525万2千円の経費節減、70行目の法人会計管理費も64万1千円の経費節減をした上での赤字見込みでございます。更なる経費節減を図りながら、次年度は本会運営に取り組んで参ります。なお、各会計の詳細については、22ページから25ページに掲載しております、後刻御覧ください。

以上で、収支予算(案)の説明を終わります。御審議宜しくお願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

**【議案4 評議員会の開催について(5月臨時・定時評議員会)】**

レジュメ26ページを御覧ください。評議員会を開催する場合は、理事会において、日時及び場所並びに議事に付すべき事項を理事会において決定したうえで、会長が招集することとなっております。今回、人事異動等に係る役員の変更に伴い、理事・監事の選任が必要となることから、その日時及び場所並びに議事内容について、御提案するものです。臨時評議員会、定時評議員会の詳細については、記載の通りでございます。

御審議宜しくお願いいたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、上記のことについて承認を議場に諮った》

《全会一致で承認された》

## 6 その他

以下の内容について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

### (1) 令和5年度賛助会加入状況について

続いて、(1) 賛助会員加入状況について御説明いたします。レジュメ27ページをお開きください。3月10日時点の賛助会員加入状況でございます。お陰様をもちまして、法人会員、個人会員の両方で過去最高となる賛助会加入状況でございます。

法人会員は180件、個人会員が162件であり、前年比で、法人が21件増、個人が13件増となりました。下段に記載がございます賛助会費総額は、前年比6万2千5百円増の702万円でございます。賛助会員一覧を掲載しておりますが、理事の皆様をはじめ、多くの皆様の御理解、御協力に改めて感謝申し上げます。

中期経営計画で御提案した通り、次年度からは新たな賛助会制度を構築し、2027年末までに賛助会費総額1000万円を達成できるよう取り組んで参ります。来年度も引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

その他の説明は以上です。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《麻生議長が、その他発言があるか議場に確認した》

## 西川理事

県中体連からです。本年度も大きな事故等なく大会を終えることができました。感染症や熱中症、また台風等も心配されましたが、無事終了することができ安心しております。御協力、大変ありがとうございました。

さて、これまで中体連主催大会に参加する者は、学校の部活動に所属している生徒だけが参加していましたが、少子化の影響や、学校に部活動がないなどの理由により、今年度から地域クラブ活動に参加している生徒も中体連の大会に参加する、また上位大会に出場するということを認めてきました。その成果もあったのですが、全国的な情勢を見た中で、来年度からはその制度を緩和し、更に多くの生徒達が参加できるようにいたします。ただ、勝利至上主義等も懸念されますので、それぞれの種目や地域で参加制限を設けながら、多くの生徒達が参加できる形を取っていくこととしております。詳しくは、午後からの評議員会において、中体連理事長が評議員の皆様にご説明いたします。

《麻生議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

- 7 閉会のことば  
押田総務部長が閉会のことばを述べた。

令和6年3月22日

会 長 麻生 益直

監 事 羽田野昭人

監 事 古庄 健一

監 事 穴井 哲也